

一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人32件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

矢崎地下道
傾斜路のこう配緩和等の
改修計画はあるか計画はないが改善に向けた手法等を
調査、検討していきたい

矢崎地下道は武蔵野線開通当時のままで危険である。同地下道の傾斜路はこう配がきつく、自転車等での通行に苦慮する状況であるが、こう配を緩くし、車いすやベビーカー、高齢者がつえ等の代わりに使用しているシルバーカーの通行は、最低限でできるくらいの配慮は必要と思う。そこで、同地下道を改修する計画があるか聞きたい。

林 辰男議員(市政) 平成18年に防災公園が完成し、市川・下河原緑道が避難道路として整備され、市民も安心して避難ができるようになったが、

市長 同地下道については、市民からも意見が寄せられている。これらを受け、改良の検討をしてきたが、防災公園側の第二都市遊歩道の下に都



▲矢崎地下道

市下水路の構造物が埋設されているため、傾斜路のこう配の緩和は困難な状況である。よって、現段階での具体的な改良計画はないが、改善に向けた様々な手法等を調査、検討していきたい。

ダストボックスの撤去など
家庭ごみの収集方法の変更
市民への対応は臨時電話による相談窓口の設置等を
検討していきたい

だが、私は、住民合意に達していない、採決にはまだ早いとの理由で退席をした。しかし、多数決で決められたことには従う。その上で質問するが、ごみ問題へは、市民個々の問題を聞き取り、利便性を払うべきと考える。そこで、市民の意見や不満などを受ける専用電話を設置する考えは。

村井 浩議員(市フォ) 平成20年第4回定例会において、家庭ごみの収集方法の見直しについて市長報告の採決があつ

副市長 家庭ごみ収集方法の変更が定着するまでの一定期間、臨時電話による相談窓口の設置等を検討していきたい。

府中市学校教育プラン21
第3期事業実施計画の主要な取組は環境教育への取組等を
新たに位置付けた

小野寺 淳議員(市政) 市は、学校教育プラン21の第3期事業実施計画を策定した。そこで、同プランの主要な取組について聞きたい。

議員 同プランが位置付ける主要な課題の推進にあたっては、教育現場とのコミュニケーションが何よりも大事だと思うが、今後、教育現場とどう調整していくのか。

移動火葬車に関する市民からの苦情はない。今後、苦情があつた場合は、市職員が現場確認し、適切な指導をする。

議員 ペットの霊園や火葬場の設置に関する条例を制定し、規制すると思うがどうか。

環境安全部長 今後、都条例に基づく指導方法や先進市の指導方法の情報を聴取し、内

規的な指導マニュアルによる迅速な対応ができるよう検討していく。

内規的な指導マニュアルによる
迅速な対応を検討していく

相原 博議員(市政) 近年、ごみ屋敷やハト屋敷及び猫屋敷、犬屋敷等が社会問題となつているが、本市では地域住民からの苦情はあるか。また、ペットの移動火葬車を使い、火葬だけを行う業者に住民が迷惑しているとの報道がある

が、本市では苦情はあるか。環境安全部長 ごみ屋敷と呼ばれるものは、平成20年度に苦情が13件あつた。ハト屋敷については、過去5年間ないが、猫屋敷の苦情は20年度に4件、犬屋敷は18年度に悪臭の相談が1件あつた。

移動火葬車に関する市民からの苦情はない。今後、苦情があつた場合は、市職員が現場確認し、適切な指導をする。

議員 ペットの霊園や火葬場の設置に関する条例を制定し、規制すると思うがどうか。環境安全部長 今後、都条例に基づく指導方法や先進市の指導方法の情報を聴取し、内規的な指導マニュアルによる迅速な対応ができるよう検討していく。



▲鎌倉街道の中央道高架下

鎌倉街道の中央道高架下の、特に西側歩道は幅員が狭く、歩行者同士譲り合わな

きない状態にあるが、そこで、鎌倉街道の中央道高架下の、特に西側歩道は幅員が狭く、歩行者同士譲り合わな

鎌倉街道
安全な通行への取組は
北多摩南部建設事務所に
改善を要望していく

高野 政男議員(市政) 鎌倉街道の歩行者の安全について、以前より改善を重ね、大

分改良がなされているが、まだ安全に通行できない箇所があると思う。

議員 当該箇所は、安全に行けるようにすべきと考え

リサイクルプラザの活用
リサイクル品の
常設販売を行う考えは実施に向けて
検討していく

村木 茂議員(市政) 市リサイクルプラザは、総合的なリ

議員 リサイクルフェスタにおいても、ごみ減量運動に関す



▲リサイクルプラザの再生家具即売会

議員 カラス等によるごみ被害の対策として、家庭用のごみボックス購入などに対し、補助金を支出する考えは。ごみ改革推進本部長 質問を踏まえて、近隣市の状況等を調査し、本市にふさわしい対応を検討していきたい。

サイクルの拠点として、平成18年10月より稼働している。本市においては、ダストボックス廃止やごみ有料化などのごみ改革を進めている中、同プラザをごみ減量推進の拠点とする必要があると思う。

そこで、ごみ減量の意識を高めるため、同プラザに再生家具等のリサイクル品の展示場を設け、常設販売を行う考えがあるか聞きたい。